

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 04月 08日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県沼津市中沢田602-1

氏名 株式会社 植松建設

代表取締役 植松弘行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055 - 921 - 0759

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 植松建設		
事業場の所在地	静岡県	沼津市	中沢田602-1
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	総合工事業		
② 事業の規模	元請け完成工事高：3億5千万		
③ 従業員数	14人（正社員9名、それ以外の職員5名）		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類（アスガラ・コンガラ等）、汚泥等 現場で発生 → 運搬 → 他社中間処理施設にて中間処理及び再生、又は、最終処理を委託		

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 総括責任者 ; 代表取締役 植松弘行 産廃責任者 ; 総務部 工藤 芳経 各現場責任者 ; 工務部 各現場代理人		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	アスファルト・コンクリート破片	1,940.640 t
	コンクリート破片	3.200 t
	建設汚泥（残土を除く）	0.040 t
	建設混合廃棄物	2.080 t
	(これまでに実施した取組) 発注者の設計書にもとづいて、既設舗装等の過大な切削・取り壊しがないような施工計画に努め、産廃の発生量の抑制に努力している。現場代理人が各現場ごとに再生資材の利用及び建設副産物の発生・搬出の計画を行っている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	アスファルト・コンクリート破片	1,800.000 t
	コンクリート破片	2.000 t
	建設汚泥（残土を除く）	0.020 t
	建設混合廃棄物	1.000 t
	(今後実施する予定の取組) 排出量は工事受注件数や工事内容に因るため、廃棄物の分別の促進、設計内容精査による余剰部分の削除に取り組む。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

①現状	道路工事が主の為、産業廃棄物はほぼアスファルト殻である。専門の再生業者に委託した。また、コンクリート殻や建設混合廃棄物等については、分別し各専門の再生業者に委託した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前期同様の取り組みを、より一層努力していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		

②計画	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	アスファルト・コンクリート破片	31.780	1,940.640	0.000	0.000	1,940.640
	コンクリート破片	3.200	3.200	0.000	0.000	3.200
建設汚泥（残土を除く）	0.000	0.040	0.000	0.000	0.040	

		建設混合廃棄物	2.080	2.080	0.000	2.080	2.080
		<p>(これまでに実施した取組) 再生利用者へ産業廃棄物の処理を委託した。</p>					

		【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
	アスファルト・コンクリート破片	20.000	1,800.000	0.000	0.000	1,800.000
	コンクリート破片	2.000	2.000	0.000	0.000	2.000
	建設汚泥（残土を除く）	0.000	0.020	0.000	0.000	0.020
	建設混合廃棄物	1.000	1.000	0.000	0.000	1.000
（今後実施する予定の取組） 継続して、再生利用業者へ産業廃棄物の処理を委託する。						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。